「お手紙」の一 ⑧段落　吉岡

追求単位①

⑤段落のかえるくんが言った「一度もかい。」は、④段落のがまくんの言葉「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」を、

対立問題

Ⓐ信じている ⇔ Ⓑ信じていない

Ⓐ'やさしく確かめている

Ⓑ'信じられないと強く疑っている

解決の言葉

「え、まだかい。」「え、今日かい。」「え、今からかい。」

「一度もかい。」の「かい。」(終助詞)＝終助詞「か」＋「い」疑問を強める

「さえも」

最低でも一度くらいはお手紙をもらったことがあるだろうに、その一回もないことへのおどろきと強く疑い。

多く親しみの気持ちを込めて疑って相手に尋ねたり、確かめたりする気持ちを表わす。

直前の「も(さえも)」と合わさって、Ⓑ「信じられない」と強く疑っている」ことになる。

解釈

④段落の「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」というがまくんの言葉は、かえるくんにとって耳を疑いたくなる信じられないものだった。普通なら、お手紙を一度くらいはもらったことがあるはずなのに、全くないというがまくんにかえるくんは強い疑い(本当にそんなことがあるのか。)をもってしまうのである。大切な友達に手紙をもらったことがないことを打ち明けたのに信じてもらえないどころか疑いの目を向けられたがまくんは、怒りを覚え、「ああ。一度も。」とかえるくんの言葉をわざわざ繰り返している。しかも、かえるくんに話す間も与えることなく、「だれも、—。」とかえるくんに対する思いをぶつけるのである。

課題

これを「がっかりして言った」ととらえる子が多かった。もしも、がっかりして言ったのか、がっかりして言ったのではないのかという対立を組んだ場合、「ああ。一度も。」の答えや、「だれも、」と聞かれるかもしれない。自分から

ここでは、「一度も。」と「一度もかい。」を比べて音読しながら、「ああ。一度も。」と「うん。」を比べて音読しながら、信じられないと強く疑うかえるくんの気持ちを押さえるとともに、「ああ。一度も。」と憤慨するがまくんの様子を捉えることができるようにしたい。

あまり言いたくないことを言い方を変えて繰り返すのはおかしい。

追求単位②

かえるくんは、がまくんの⑥「ああ。一度も。」を聞いて悲しくなったのか、⑦「だれも、—。」を聞いて悲しくなったのか。

対立問題

Ⓐ⑥「ああ。一度も。」

Ⓑ⑦「だれも、—。」

解決の言葉

一文目…「だれも」「だ」

三文目…「その」「さ」

解釈

怒りの感情をあらわにして無奮して自分の気持ちをぶつけてくるがまくんに対して、かえるくんが悲しさを覚えることは考えにくい。従って⑥は消える。では、⑦段落にある三文のどれを聞いて、かえるくんは悲しくなったのか。

三文目の「その」が指すのは、一文目「だれも、—」である。だが、がまくんは④段落でも同じことを言っている。では、一文目はどこがちがうのか。「だれも」は一般大衆ではなく、明らかにかえるくんを指している。がまくんが、手紙を書いていない自分(大切な友達)を批判していることに気づき、かえるくんは悲しくなったのである。また、がまくんに三文を言わせたことも、取り返しのつかない悲しさにつながったと考える。また、がまくんも本音をぶつけたことで悲しくなり、二人とも友達を失った悲しみを覚えたからである。

「お手紙」プラン①-⑧

かなしい

ふつう

とりかえしのつかないことをずっと思って、なみだがとまらない。

(例) 大切な人 ペット 死

よっぽど

かえるくんがかなしくなったのはどこだろう。

① ×

② × にずれている

③ × にずれている

④ ×

⑤ × にずれている

追求②

⑥ △

⑦ △ 変化 葛藤

追求②

⑥ ああ。一度も。」を聞いて悲しくなったのか。の「だれも。一」を聞いて悲しくなったのか。

⑧ 二人とも かなしい気分でもうれしい

理屈っぽくなる。▲

↓

子どもが離れていく。▲ (特に低学年)

↓

対立 → 論証過程で

具体的 分かやすい

イメージ化 例示

子どもが見つける気付くように

言葉にしているもの

A

④ がまくんのかなしい お手紙をもらったことがない

調べてみよう

そんながまくんを見て かえるくんは、 悲しくなっている (いない)

⑥ ×

追求①

⑥ のがまくんに対してかえるくんは何も言っていない

かえるくんが言葉に出さないほど悲しくなったのか。

かえるくんの言葉を出すのにかえるくんが言いにくいのかって

断定

主体の判断

強く主張する

本当の理由

本当のかなしさを紙にして友達をなぐさめる

④ がまくんの言葉の変化

「あの。一度も。」興奮

「だれも一」

④ が

「あの。一度も。」

「一度もない。」

「一度も。」

「うん。」でいいよ。

もどよ!

④ が を信じていない ④ はいらない

「にっこりー」

信じていない!!

信じたい(心配)

音読

④ が

「にっこりー」

⑦ の「にかえるくんがかなしくなったのはありそうだ。

⑦ の ⑥ をいれよ

音読

(言い方)

① ② ③ のどれかがかえるくんのかなしくなったのはつぎのようなことだ。

① だれも

「だれも」

「だれも」

④ とけいだって。

しばらくしてから

しばらくしてから

しばらくしてから

12/6 (水) 2-4 「お手紙」授業記録 吉岡 No.1

〈はじめに〉
「かなしい」の確認
不幸・取り返しのつかないことを思い続けて涙が止まらない。
(例)大切な人・ペットがなくなった・死んでしまった。
かえるくんにとってよっぽどのことがあった。

⑤ かえるくんがかなしくなったのは、どこだろう。

① ×
② ×
③ ×
④ ×
⑤ ×
⑥ × ほとんど ○ 1人
⑦ × 4人 ○ 28人
⑧ ○ 4人〜二人ともかなしい、気分で

〈がまくんのすばらしい④「お手紙もらったことはないもの。」〉

と書いてある。

〈困ったこと〉
⑥で かえるくんがかなしくなったがほとんどいなかったので「一度もかい。」「ああ。一度も。」の音読がタイクリにできなかった。Ⓣが音読に導いて、一時間目は終了した。

Ⓣ1 (一段落ずつ読みながら)もし、かえるくんがかなしいわけが書いてあると思ったら、そこって言ってね。(板書「かえるくんがかなしくなったのはどこだろう。」)

Ⓣ2 (一段落目から読みながら)一段落目は?。ⓒ「かなしくなってない。」何で?
かえるくんの名前が出てこない。Ⓣみんなに言わせる。)

C1 一段落では、かえるくん出てきてないよね。(だから、ここにはかえるくんが悲しくなったわけはって、(ⓒ口々に「ない!」)わけっていうか、かなしくなったことは書いてないよね。

T3 (二段落を読んで)ここでかえるくんが悲しくなったわけは書いてあった?(ⓒ「(口々に)ない。」)

T4 二段落にはかえるくんの名前は出てないけど、Ⓣ出ているけど」)でも、かえるくんはがまくんが悲しそうだと思ったから、かえるくんがかなしくなったのはどこだろう。

C2 思ったから、かえるくんががまくんに「悲しそうだね。」と言ったからだけで、かえるくんはまだ悲しくなっていない。

T5 がまくんにきいただけだから、まだ悲しくなってない。じゃあ、二段落もないね。(三段落を子どもに読ませる。)

C3 はい。ここで、かえるくんはかなしくなった?なってない?、(ⓒ口々に「なってない。」)なんで?(何人か手を挙げる。)

T6 が当てずに相談させる。)

C4 「そりゃ、どういうわけ。」って、かえるくんはまだ何もかもがわかってない。「そりゃ、どういうわけ。」って聞いているから。

T7 (他のように言わせる。)

C5 三段落には悲しい理由はない。

T8 たずねただけ。

C6 たずねただけなんだよね。だから、ここ(三段落)もまだ悲しくない。

T9 (四段落を読んで)はい。悲しくなったか。(ⓒ口々に「なってない。」)

C7 がまくんが言ってる。

C8 それは、ちがう。(かなしくなってない。)

C9 あの、四段落の「だってぼく〜〜」は、かえるくんは出てない。それはがまくんが悲しいわけのお話だから。

T9 (五段落を読んで)「一度もかい。」は、だれが言ったの?

C10 ⓒ口々に「かえるくん。」じゃあ、この時、悲しくなったか、なってないか。(ⓒ口々に「なってない。」)何で?

C11 今、さっき、がまくんがかなしい理由を知ったから、まだ悲しくなってない。

C12 いや、悲しいでしょ。がまくんが悲しい理由を聞いた人だから、悲しくなってる。
「一度もかい。」と言って、ただただびっくりしている。一度(くらいは)もらったことがある。(けずだ。ふつうは。一度くらいは、もらったことがあるかもしれない。

No.2

T10 C13

「一度くらい」は、ある。

一度くらいは、あるだろうと言ったのね。それだ。（ないから）びっくりしてるって言ってたのね。じゃあ、五段落は、かえるくんのかなしいはず。（㋐は名だってない。）「一度もかい。」ってだれてるし。

（六段落を読んで）六段落で悲しくなったのか？

T4

なったのは人

なってない、32人

（しばらく待ってから）

なってない、34人

★もしこの通りなら、かえるくんが悲しいから、かえるくんも悲しいという考えは成立しなくなる。

別の理由があるの。だって、理屈っぽくはないもの。子どもたちがつくってこれりい。

★×理屈っぽい

↓

メルヒェン、じょうず

T12

（七段落を読んで）ここでかえるくんは、かなしくなったのか、はしないのか？

なったは24人

なってない4人

★じょうず

どこで悲しくなったの？教えて？

「二人とも、かなしい、気分で」って書いてある。

なるほどね。そう書いてあるよね。じゃあ、かなしくなった理由は、どこにありそうって、（四人「…」）明日は、七段落のどこで、かえるくんは悲しくなったかを考えよう。

T13 C14

「一度もかい。」

「ああ、一度も。」

「だって、ぼく、お手紙もらったことがない人だもの。」を

かえるくんは、

信じてない二一三人

信じてない三十人近く

じゃあ、何で信じてないって分かる？

T14

㋐子どもに読ませたが、全て同じ

T15 C16 C15

あの、「一度もかい。」って言ったのは、「ぼく、お手紙もらったことがないんだもの。」っていうのがあるじゃろ、だからそれで、普通だったら信じれるけど、もう一回「一度もかい。」って言ったのは、まだ信じてないってことじゃない？

「一度もかい。」って、二回目きいたから、信じてない。

信じてないってことは、疑ってるってことだね。

（この後、音読させてみる。）↓単にしゃべる形。

明日

追①の分

一度もかい？のらがい。

一度もう

「ああ、一度も。」のちがい。

「うん。」

音読

かえるくんは、悲しくない。

追②対立してりい。

七段落

「がまくんの本音」

「だれも、一くれたことがない人だ。」

「かなしいのは、――

そのだめなのさ。」

12/7(水) 2-4 「お手紙」授業記録　古口周　No.1

T1 (昨日の続き)
「だって、ぼく、お手紙もらったことない人だもの。」というがまくんの言葉を聞いて、「一度もかい。」というかえるくんは、
Ⓐ信じられないと強く疑っている。25
Ⓑやさしく確かめている。7
何でそう思うの？

C1 「一度もかい。」って言っている時に、多分かえるくんはびっくりして、(聞き取れない)思ってるから強く疑っていると思う。

T2 昨日のこと使ったよ。Ⓒにタにて「ぼくん。」まだ言えない人。

C2 つぼいえんの言ってくれた「一度もかい。」の「かい。」はびっくりしていて、(聞き取れない)これが二回目だから、信じられないと疑ったと思う。

T3 ふつうならお手紙をもらったことが一回ぐらいはあると、つぼいえんは言ってくれたのね。でも、「お手紙もらったことがないんだもの。」って言ったから、「えっ？」と思ったのね。「かい。」っていうのもあったよね。(疑いの証拠)

C3 「かい。」がついているから強くうたがってると思う。

C4 ふつうなら一回くらいは手紙をもらったことがあると、かえるくんは思っていて、それでがまくんはお手紙を一度ももらったことがなくて、「一度も。」「かい。」がついているから、強く疑っている。

Ⓐ 30 → つぎ会ってね
Ⓑ 2

T4 「一度もかい。」の音読、Ⓐに戻りて疑った読み方をさせる。
そしたら、「ああ。一度も。」は、どう読んだらいい？

C5 「一度もかい。」ってびっくりして言われたら、疑って

C6 がっかり。
と怒りながら言う。

T5 がっかり 23
怒って 9 (ああ。一度も。)
どうしてそう思う？

C7 だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。と言ったのに、「一度もかい。」って疑われている。怒っていると思う。

T6 疑われてるから、怒ってる。

C8 最初の方にも、「ぼく、お手紙もらったことがない。」って言ったが、その後にもう一回言われたから、怒ってる。

C9 前にも「お手紙もらったことがない。」って言ったのに、もう一回、信用されていない。

T7 Ⓐでも「お手紙もらったことがない。」って言ってるのに、疑われたもんだから、怒ってるって言いたいんだね。

C10 お手紙を一回ももらったことがないから、がっかり言っている。

C11 がまくんは本当のことを言ったのに、かえるくんに「一度もかい。」って疑われたから、結構がっかりしてる。

C12 「ああ。一度も。」の「ああ。」がついているから、がっかりしている。

C13 「一度もかい。」って疑われたし、かえるくんがしばれたから、がまくんは怒っていると思う。

T8 かえるくんとがまくんは、どういう関係？ただの知り合い？

C14 友達

T9 どのくらいの友達？

C15 親友

C16 親友

C17 大親友

T10 この二人は、大親友なんだ。最高の友達だよね。
その大親友に疑われたということは？
Ⓒ「怒ってい！」「がっかり」両方。

No.3

C35 C34 T15 C33 C32 T14 C31 C30 T13 C29 T12 T11 C28

〈がっかり怒って〉26

「ああ。一度も。」

大親友に疑われて相当怒っている。怒っているっていうことは、ちょっともどるよ。かえるくんが悲しくなったことになるのかなあ。怒って、ろがまくんを見て、かえるくんは悲しくなったかな、なってないかって、(ⓒ口々に「なってない。」)はそれいよね。

相手は怒っているから。

「一度もかい。」ってきびしいから、かえるくんはまだ悲しくなっていなくて、がまくんがかっかりして、㋐「だれも、〜そのためなのさ。」で、かえるくんは悲しくなったことね。

★どうしたらよいのかな。「対立を保留して、㋐段落の「―㋐。」「―㋐」強い表現で解決する。

★「ああ。一度も。」をがっかりととらえるなら、それを見にがまくんは、悲しーではなくかわいそう。だから、ここへもっていくのは?

Ⓐだれも、――

Ⓑ毎日、ぼくの――

Ⓒお手紙――

(怒って音読を真似させる。)

Ⓐ Ⓑ Ⓒのどこで、かえるくんが悲しくなったか。

Ⓒじと思う。(Ⓐ Ⓑも、いい。)

ちょっとⓒで、気になることないって、待っている時(Ⓓ毎日待ってるもんね。)

そのためなのさ。

その中のってどこ?

「さ」(㋐「さ」もそう。)

その

例えば、「吉岡くんがごはんを食べないのは、そのためなのさ。」

知りたいことないって

なぜ、食べないのかの理由。(ⓒ口々に「理由」。)

No.4

T16 T17 C26 T18 C27 T19 C28 T20 C29 T21 C30 C31 T22

この「その」っていうのが、どこのこと言ってんのか分かんないよね。「その」がさしているのは、どこだって。

Ⓐ「だれも――。」(口々に「Ⓐ」)

Ⓑもいいので、その理由としてⓐがあるから、Ⓐの部分を残した。

否定せず

悲しくなる部分は、Ⓐにありそうだ。)

★Ⓑは、かえるくんのかなしーだけりーがまくんに対するかわいそう。

㋐「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」

㋐「だれも、ぼくにお手紙なんかくれたことがないんだ。」

これって、同じこと言ってんじゃないのって(音読させてみる。)

㋐は、普通に言って、二回目の㋐は怒っている。

二回目の理由(かなしい)を言った時には、(ⓒ「怒る。」)

(音読させる。)㋐を(怒って)それがぼく(がまくん)が悲しいわけだって言ってんだよ。

じゃあ、㋐と㋐は(本当)中身は一緒って、

㋐は、「だれも」っていう意味だけど、㋐は、「だれも」っていうのは付かないから、だから中身はちがう。

「だれも」が変になるのね。じゃあ、聞かせて、この「だれも」っていうのは、

世界中の人 ㊥

ある決まった人 ㊥

だれかって、だれなの?

かえるくん

おれも、かえるくんだと思う。

目の前のかえるくんに、「だれも――」って大親友に言ってる。かえるくんのかなしくなったことと関係ありそうで、大親友に、「だれも――」と目の前で言われた。そーだから。

さすがに、むねが痛くなる。(T23 「さすがに胸が痛くなって?」)
かえるくんが悲しくなる。(C 「ぼくに、「悲しくなる。」)
あ、あ、あ、分かった。
心が悲しくなった。
まだ友達じゃないそうかなあ? かえるくんは、友達じゃないそうだと思う? 思ってる? がまくんは?
(C 「ぼくに、「思ってない。」だから、(T 「二人とも、をきって」)
二人ともかりゃ、ん、だな。